



男女共同参画月間特集

みんなで考える ダイバーシティ社会

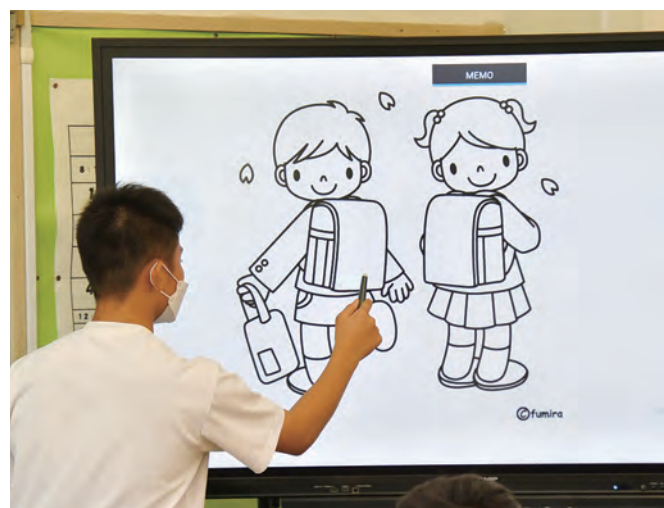
私たちは一人ひとり、年齢、性別、国籍、障がいの有無、
性的指向・性自認など異なる価値観やバックグラウンドをもっています。
人口減少や少子高齢化、グローバル化など、社会情勢が変化の中で、
持続可能な地域社会をつくるためには、
だれもが活躍でき、多様性が享受できる社会の実現が求められています。

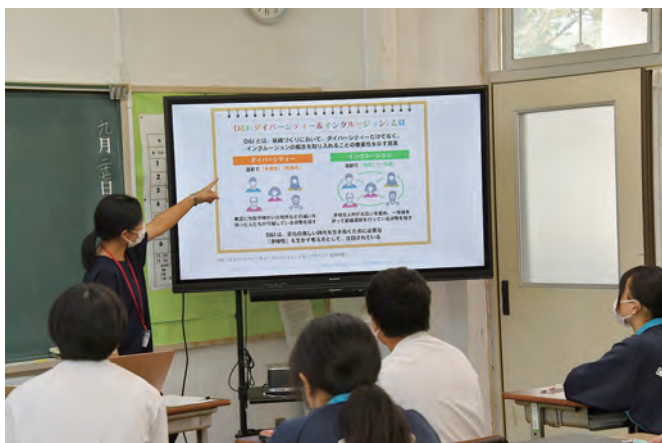
9月27日、稲田中学校の3年生のクラスでは、道徳の時間に「ダイバーシティ&インクルージョンの実現のために」をテーマにした授業が行われました。

ランドセルを背負った男の子と女の子の輪郭だけが描かれた絵が、教室前にある大型ディスプレイに映し出されると、生徒たちは自分がイメージする色を塗り始めました。

「男の子が青、女の子が薄い緑」「男の子も女の子も同じ色」など回答はさまざま。今、売り場に並ぶランドセルは、華やかなパステルカラーや深みのあるカラーが展開され、「男の子は黒、女の子は赤」という色の固定概念はなくなりつつあります。

ランドセルの色は何色？





楽しく学べるWebゲーム 「ダイバーシティへの旅」

茨城県ダイバーシティ推進センター「ぼろりす」が開発した「ダイバーシティへの旅」。ストーリーを読み進めながら、4拓クイズや謎解きクイズに挑戦してダイバーシティ&インクルージョンについて楽しく学べるWebゲームです。

授業のなかで生徒たちは、タブレットを活用して実際に体験。Webゲームは第2弾まで展開され、中には、全シリーズを制覇した生徒もいました。

生徒を惹きつける楽しい授業となりました。

授業を終えて…



授業を終えて、生徒たちからは「Webゲームで楽しみながら学ぶことができた」「ダイバーシティというテーマでこれまで話し合うことがなく、新しい考え方を学ぶことができた」「自分の知らないことがたくさんあり、世界が広がった」などといった感想が寄せられました。

「個性を受け入れること」

「自分の考えやイメージを押し付けけないこと」

「他人ごとにししないで身近なこととして考えていく」

など、今回稲田中学校の生徒たちが学んだ知識を私たち一人ひとりが意識して行動していくことが大切です。

Web ゲーム「ダイバーシティへの旅」にチャレンジしてみよう！

ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)

について楽しく学んでみませんか。

ゲーム感覚で楽しめます！



Web ゲーム
「ダイバーシティへの旅」

日本人にとっては「当たり前」でも、外国人従業員には伝わらないため、社内のルールを明確化し、外国人でも働きやすい環境づくりをすすめています。

社内のルールを明確に

「製造業＝男性の仕事」というイメージがあるなか、未経験でも安心してチャレンジできる環境をつくり、女性の雇用をすすめています。

「働き続けたいけど、育児で短時間しか働けない」という女性社員の声から、新たに正社員でも短時間勤務を認める仕組みを作りました。9月から2名の女性がライフスタイルに合わせて働いています。優秀な人材を確保できたことで生産性があり、企業のメリットになります。

視点をかえると女性も活躍できる



はしもと ひろみ
橋本 広美 管理部部長



2023年10月にいばらきダイバーシティ宣言をして、社内の意識が変わりました。これからも入社した方が「この会社に入ってよかった」と思ってもらえる環境づくりを行い、地域の皆さんの思いを大切にできる会社になっていきたいです。

今後は…



「個人を認める＝自由」ではないと思っています。それぞれが自由奔放になることなく、互いを尊重する姿勢として「多様性」を意識することが一つずつよい方向に向かっていけると 생각합니다。

「多様性」と「自由」は似ているようで違う

check!

笠間市は「いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業」へ登録しました！



笠間市は、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的思考などにかかわらず一人ひとりが尊重され、多様な人たちが活躍できる「ダイバーシティ社会」の実現を目指し、令和3年10月に「いばらきダイバーシティ宣言」に登録しました。

令和6年10月には、「いばらきダイバーシティスコアチャレンジ企業」に登録。

いばらきダイバーシティスコアとは、企業や事業所におけるダイバーシティの取り組みがどの程度進んでいるかを「見える化」する指標です。

笠間市役所を一事業所としてスコアをみると、「性別による社会的・文化的な格差を無くし誰もが働き続けることができるための取り組み」や「仕事と育児、介護などを両立しながら働き続けることができるための取り組み」が進んでいるという結果となりました。

社員の意見を反映して働きやすい
職場環境を

2023年12月に完成した新社屋には
カンガルー（子連れ）出勤専用のスパー
スがあります。お子さんが熱を出し、急
に仕事を休むことになったり、これから
育児休業を取得することになったりして
も、それぞれの業務を誰もができるよう
に社内の業務をマニュアル化しました。

これらは、社員の意
見を取り入れながら進
めたもので、働きやす
い職場づくりを進めて
いくためには、社員の
意見を聴くことは大事
だと思っています。



カンガルー（子連れ）室

社長のおごり自販機で
円滑なコミュニケーション

2人で社員証をタッチすると飲み物が
タダになる「社長のおごり自販機」を設置。



わたなべ ただひで
渡邊 忠英 取締役工場長

無償で飲めるのは各人1週間で3本まで。
部署や年代を超えて交流を図るため同じ
ペアでは1回しか買え
ない設定になっていま
す。来客用のお茶もチ
ケットで購入でき、女
性社員がお茶を入れる
のではなく、対応する
職員がお茶を出してい
ます。

今後は…

外国人の社員も多くいるため、今後は
母国語の手順書を作成したり、日本語教
育も進めていきたいと考えています。

これからも、社員が話しやすい雰囲気
を維持しながら、誰もが働きやすいと思
える職場づくりを進めていきます。



いばらきダイバーシティ宣言企業・団体を募集しています！！

県では、ダイバーシティ社会の実現を目指し、県内の企業や団体、県民が広くダイバーシティの考えを共有
するためそれぞれの実情に応じた取り組みを宣言する「いばらきダイバーシティ宣言」を行う企業、団体、自
治体を募集しています。

いばらき
ダイバーシティ宣言
登録はこちら



いばらきダイバーシティ
スコアチャレンジ企業
登録はこちら



D&I 検定3級
(茨城県版)
はこちら

